

〈前文〉 い じ め 撲 滅 宣 言 平成30年11月1日 改訂

～いじめ・暴力・嫌がらせをなくし、楽しい学校生活を～

すべての生徒は、楽しく学校生活を送る権利を持っています。生徒全員は、この権利を実現するために、いじめ・暴力・嫌がらせをなくす活動に取り組んでいくように努めます。このような行為があると、楽しく学校生活を送る権利は、奪われてしまいます。そして、被害者にとっても深い傷跡を残します。楽しく学校生活を送る権利は、誰にも奪うことはできないはずなのです。

心が弱い人間ほど弱い者いじめをされるといいます。心が立派な人ほど優しいとも言われます。いじめ・暴力・嫌がらせによって楽しんでいる人がいるのは、みんなが支え合い協力し合う楽しさを知らないからです。お互いに傷つけ合うことによって、楽しめない悲しい状態なのです。今、いじめられている人が本当に楽しい学校生活を送るためには、学校からいじめ・暴力・嫌がらせをなくさなければいけないのです。しかし、これを完全に実現することは簡単なことではありません。なぜなら、「注意をしたら自分もいじめられてしまうのではないか。」「いじめと感じていてもそれを言ってしまうと、関係が悪くなってしまうのではないか。」などと考えることがあるからです。また、他人が傷ついていることを自覚せずに、無意識にいじめてしまうことがあるからです。

そこで、みんなで決意表明をし、お互いに注意をしようことができるようにするために、次のことを宣言します。

A、どんな理由があっても、いじめ・暴力・嫌がらせなど人を傷つける目的の行為はしません。（抵抗は認めるが、仕返し、復讐は認めない。それは、さらなる暴力につながるからです。）

B、差別や、人としての上下関係を認めません。（これは役割関係や立場の違いを否定するものではありません。）

C、問題を見つけたら、傍観者になったり、問題を見逃したりしないように努めます。

D、嫌なことは勇気を出して、はっきり嫌という努力をします。

E、問題が起きたら、力関係で解決せずに周囲の人たちの協力も得て話し合い、解決していきます。

F、いじめ・暴力・嫌がらせをなくすために、労力をおしماず、自分達にできることを積極的に行います。

G、いじめ・暴力・嫌がらせをしている人へ。あなたが軽はずみにしている行為がどんなに人を傷つけているか理解してください。遊びやふざけのつもりでも、相手が嫌な気持ちを抱けばいじめになります。すぐにやめて下さい。みんなが安心して暮らせる安方中を共に築き上げていきましょう。

この宣言文に基づく運動を「いじめゼロゼロ運動」と称し、宣言の内容を生徒全員で理解し、今後後輩に継承していきます。

大田区立安方中学校生徒会